

Press Release

【報道関係各位】

2026 年 8 月 18 日
ポーラ美術館

「あたらしい目—モネと 21 世紀のアート」展 開催中

モネ没後 100 年・開館 25 周年を記念する大規模企画展

ポーラ美術館（神奈川県・箱根町）では、モネ没後 100 年・開館 25 周年記念「あたらしい目—モネと 21 世紀のアート」を 2027 年 4 月 7 日（水）まで開催中です。革新的な「目」をもって絵画のあらたな時代を拓いたモネと、現代の作家たちの「目」が交わりあう空間で、モネ作品のあたらしい鑑賞体験をお届けします。

本展覧会では、モネの画業と現代美術とのつながりを美術史の展開として捉えるかわりに、「カメラ」「時間」「河」「ライフ」「庭」の 5 つのテーマが、展示室を横断しながら、美術館の内と外をゆるやかに繋ぎます。

屋外では、美術館周囲の「森の遊歩道」に中谷芙二子によるダイナミックな霧の彫刻が、毎時 0 分、30 分に出現します（冬季は休止）※1。森の奥から響くスーザン・フィリップス《ウインド・ウッド》の展示とあわせてご覧いただけます。

ポーラ美術館が誇るアジア最大のモネ・コレクション 19 点と、国内外 18 組の現代作家が生む新たな視点と創造的対話をご堪能ください。

展示風景：「あたらしい目—モネと 21 世紀のアート」
ポーラ美術館、2026 年、撮影：中川周



中谷芙二子《霧のプロムナード 仙石原》霧の彫刻 #47721、2026 年
展示風景：「あたらしい目—モネと 21 世紀のアート」ポーラ美術館、2026 年、撮影：中川周

【おもな展示風景】



スーメイ・ツェ《ある枠組み 3 (パリ、ヴェネツィア、ジヴェルニー)》(部分)、2026 年、ポーラ美術館
 展示風景：「あたらしい目ーモネと 21 世紀のアート」
 ポーラ美術館、2026 年、撮影：中川周 ©sumeitse



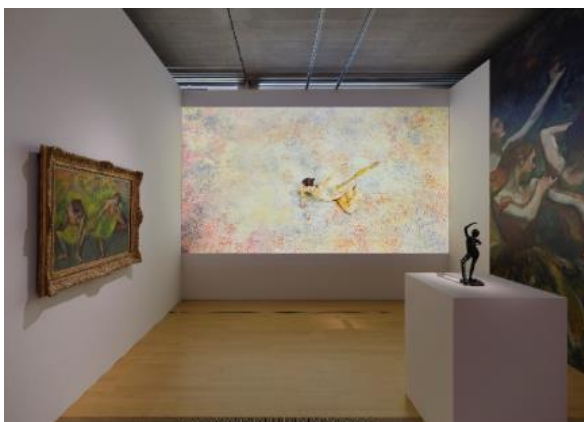
ノエミ・グダル《不変性の物語》2025 年、作家蔵
 展示風景：「あたらしい目ーモネと 21 世紀のアート」
 ポーラ美術館、2026 年、撮影：中川周
 ©Noémie Goudal Courtesy of the artist,
 Edel Assanti and Artangel



フェリックス・ゴンザレス＝トレス、展示風景：「あたらしい目ーモネと 21 世紀のアート」ポーラ美術館、
 2026 年、撮影：中川周
 Courtesy of Felix Gonzalez-Torres Foundation



三嶋りつ恵、展示風景：「あたらしい目ーモネと 21 世紀のアート」ポーラ美術館、2026 年、撮影：中川周
 ©Ritsue Mishima, Courtesy of ShugoArts



展示風景：「あたらしい目ーモネと 21 世紀のアート」
 ポーラ美術館、2026 年、撮影：中川周



展示風景：「あたらしい目ーモネと 21 世紀のアート」
 ポーラ美術館、2026 年、撮影：中川周



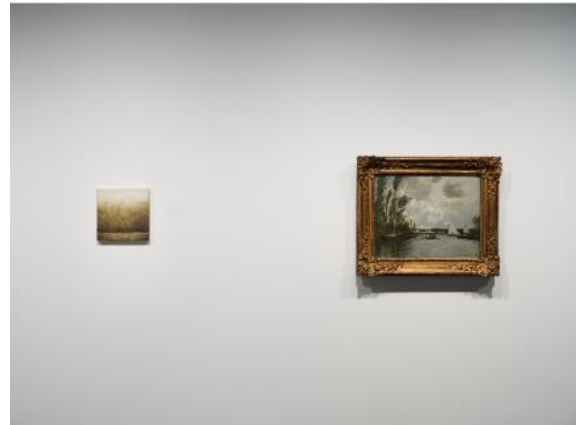
ダニエル・スティーグマン・マンガラネ、展示風景：
「あたらしい目ーモネと 21 世紀のアート」ポーラ美術館、2026 年、撮影：中川周
Courtesy of the artist and Mendes Wood DM and
Esther Schipper



カプワニ・キワンガ《ピンク・ブルー》2017 年、
作家蔵 展示風景：「あたらしい目ーモネと 21 世紀の
アート」ポーラ美術館、2026 年、撮影：中川周
© ADAGP, Paris & JASPAR, Tokyo, 2026 C5587



クロード・モネ、ロニ・ホーン、展示風景：「あたらしい目ーモネと 21 世紀のアート」ポーラ美術館、2026 年、撮影：中川周



ルーカス・アルーダ、クロード・モネ、展示風景：
「あたらしい目ーモネと 21 世紀のアート」ポーラ美術館、2026 年、撮影：中川周
©Lucas Arruda Courtesy of the artist,
David Zwirner and Mendes Wood DM

【関連プログラム】

■夏のこども向け コラージュ・ワークショップ「わたしだけの庭をつくろう！」

日 時：2026 年 8 月 23 日（日）10:00 - 12:00

対 象：小学 3 年生～中学 3 年生

定 員：10 名 Peatix より要事前申込 お申込みは[こちら](#)

講 師：中島 裕子（アーティスト）

※小学生は保護者の付き添いが必要です。

※中学生以下は入館無料です。保護者の方は当日入館券をご購入ください。

■林 卓行 氏による講演会

「キャンディのゆくえ——モネとゴンザレス＝トレスの交差するところ」

「キャンディ」シリーズを中心にフェリックス・ゴンザレス＝トレスの代表的な作品を紹介しながら、クロード・モネとの意外な接点、そして本展に出品するほかの 21 世紀のアーティストに与えた、広範なインパクトについてお話しいたします。

日 時：2026 年 9 月 5 日（土）14:00 - 15:00
登 壇：林 卓行（東京藝術大学芸術学科教授）
詳細は[こちら](#)

■今坂 庸二郎 氏 アーティスト・トーク

日 時：2026 年 10 月 10 日（土）14:00 - 予定
登 壇：今坂 庸二郎（出展アーティスト）

【展覧会概要】

[モネ没後 100 年・開館 25 周年記念「あたらしい目—モネと 21 世紀のアート」](#)

会期：2026 年 6 月 17 日（水）－ 2027 年 4 月 7 日（水）会期中無休 ※12 月 1 日（火）は休館
会場：展示室 1、2、4、アトリウム ギャラリー、ロビー、森の遊歩道
企画：岩崎余帆子（ポーラ美術館学芸課長）、鈴木幸太（ポーラ美術館主任学芸員）

出展作家：クロード・モネ、エドガー・ドガ、エミール・ガレ、ルーカス・アルーダ、アローラ&カルサディーラ、マース・カニンガム+ロバート・ラウシェンバーグ、フェリックス・ゴンザレス=トレス、ノエミ・グダル、ロニ・ホーン、ピエール・ユイグ、今坂庸二郎、アマール・カンワル、カプワニ・キワンガ、ナイル・ケティン、ダニエル・スティーンマン・マングラネ、三嶋りつ恵、中谷芙二子、大森日向子、タオ・グエン・ファン、スーザン・フィリップス、ヴォルフガング・ティルマンス、スーメイ・ツェ（ほか）

※1 屋外展示の中谷芙二子作品は、冬季の氷点下となる時期には展示を休止します。
休止期間についてはウェブサイトにてお知らせします。

【ポーラ美術館について】

2002 年に「箱根の自然と美術の共生」をコンセプトに神奈川県箱根町に開館。印象派から 20 世紀にかけての西洋絵画を中心としたコレクションを核とする展覧会を開催する一方で、現代美術の第一線で活躍する作家たちの作品も収集・展示し、同時代の表現へと展望を拡げている。富士箱根伊豆国立公園という立地を生かした森の遊歩道では四季折々の豊かな自然を楽しむ。



開館時間：午前 9 時～午後 5 時（入館は午後 4 時 30 分まで）
所在地：神奈川県足柄下郡箱根町仙石原小塚山 1285
TEL：0460-84-2111
公式ウェブサイト：<https://www.polamuseum.or.jp/>

＜報道関係者お問合わせ先＞

ポーラ美術館 広報担当：小野、稲見 TEL:0460-84-2111
ポーラ美術館広報事務局：小沢、岩崎 TEL:03-5572-7351（株式会社プラチナム内）
E-mail: polamuseum-pr@vectorinc.co.jp